

# ご存じですか！文化財

80

## 「鎌どっかえ」

市指定無形民俗文化財 平成4年3月16日指定



問合せ  
生涯学習課  
(☎0480・62・1223)



所在地 上高柳52 諏訪神社

上高柳にある諏訪神社の創建は、信州諏訪大社の分霊をまつったことによるといいます。主祭神の武神名方命は、農耕の守護神として崇敬されています。

この神社では、例大祭の日である7月27日、朝早くから『鎌』を持った人がお参りをしています。この『鎌』は、割り箸の先に諏訪神社と書いた経木ぎを付けた鎌の形をしたものです。

ここで、「鎌どっかえ」という行事が行われているのです。前の年に神社から授かった『鎌』を持ち寄り、新しいも

のと取り替える行事です。鎌は農業のシンボルで、この行事は作物の豊作を祈ったものです。さらに鎌は草を刈ることから、皮膚病の瘡くさを刈り取るものとして、無病息災に通じるといいます。

この行事は、かつては諏訪神社をまつる戸崎・上高柳・正能・戸室などの村で広く行われていましたが、現在、騎西地域ではこの神社のみとなってしまいました。

